

# 高知市立中央公民館事業

## 高知市民の大学 第96期生 募集要項

趣旨

21世紀に入り、世界も日本も大きな曲がり角に来ているように思われます。拡大から縮小へ、競争から共存へ、社会も私たちの生活も大きく変わりつつあり、新しい価値観も生まれてきています。しかし一方では、これらの変化には惑わされずに、数千年の人類の歴史を貫く価値観も厳然として存在しています。私たちは社会の変化を知り、これに対応する必要に迫られる一方で、時間と空間を超えた不変の真理にも心を惹かれます。

1977(昭和52)年の創設以来、県下における生涯学習のパイオニアである「高知市民の大学」は、「食品」や「経済」といった生活に密着した問題と、「宇宙」や「心」のようないわば「不易」な問題をバランスよく取りあげて、毎回多くの市民の皆様にご受講いただいております。大学外や県外からも魅力ある講師をお招きするのも本大学の特徴です。

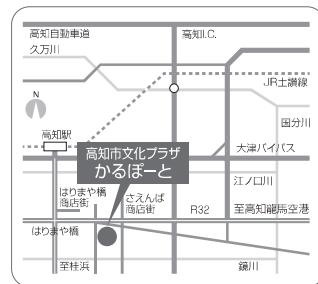
夕べのひと時、共に学び、共に考えませんか？ 知の刺激は心地よいものです。

要項

- 1 在学期間 2024年10月1日～2025年1月24日
- 2 場所 高知市文化プラザかるぼと11階 高知市立中央公民館 大講義室
- 3 曜日と時間 火曜日 18:30～20:00  
・総合コース「いかにして自然の恵みを後の世代に残していくのか？  
—改定された生物多様性こうち戦略—」  
金曜日 18:30～20:00  
・総合コース「COP26・COP27・COP28  
エネルギー政策(地球温暖化対策を含む)と環境保全の向上」
- 4 募集人員 各コース80名(先着順)
- 5 受講料 1コース 2,800円(テキスト代500円を含む)  
両コース一括 4,800円(テキスト代1,000円を含む)  
※定員に余裕がある場合は1日だけの受講も可能 各回500円
- 6 申し込み 2024年9月1日(日)から高知市文化プラザかるぼと8階文化振興事業団で受け付け(月曜を除く8:30～20:00)  
高知市九反田2-1 TEL 088-883-5071 FAX 088-883-5069
- 7 その他 ・講義の課程は裏面のとおりでですが、講師の都合や天候等により、やむを得ず日程変更や中止、講師のリモート出演となることがあります。  
・10日以上出席した受講生には、最終日に修了証書を授与します。  
・会場には有料駐車場があります(30分ごとに150円)。  
※身体障害者手帳(1～4級)をお持ちの方は最初の1時間の駐車料金が無料になります。

■主催  
高知市民の大学運営委員会  
(委員長 村瀬 儀祐)  
公益財団法人高知市文化振興事業団  
高知市

■後援  
高知新聞社/RKC高知放送



各コースのスケジュールは裏面に掲載 ▶

### ◆火曜日 18:30～20:00/総合コース

「いかにして自然の恵みを後の世代に残していくのか？—改定された生物多様性こうち戦略—」

月日	講義テーマ(内容)	講師
10月1日	改訂された生物多様性こうち戦略のねらい	高知大学名誉教授 高知県環境審議会自然環境部会長 石川 慎吾
10月8日	森林、林業と生物多様性 (高知の森林、林業の現状と課題)	森林総合研究所企画広報普及科長 高知県環境審議会副会長 佐藤 重穂
10月15日	清流を守り次の世代につなぐ (高知県の河川の現状と課題、河川生態系、川に親しむ活動)	仁淀川清流保全推進協議会会長 水生生物研究者 石川 妙子
10月22日	豊かな生きものを育む農業 (中山間地の現状と課題、農業生態系)	農と生きもの研究所代表 元(特非)環境の社こうち理事長 谷川 徹
10月29日	黒潮の恵みを考える (高知県の海の現状と課題、沿岸域の生態系)	高知生物多様性ネットワーク代表 元(公財)黒潮生物研究所所長 岩瀬 文人
11月5日	シカと共に生きる未来を考える	(株)西日本科学技術研究所 三瀬の森をまもるみんなの会 押岡 茂紀
11月12日	四国のツキノワグマは生き残るか？	(特非)四国自然科学研究センター長 山田 孝樹
11月19日	高知県の希少野生動物と外来動物の現状と課題	横倉山自然の森博物館学芸員 谷地森 秀二
11月26日	高知県の希少野生植物と外来植物の現状と課題	高知県立牧野植物園主任研究員 前田 綾子
12月3日	生物多様性の保全を担う次世代を育てる —こどもエコくらぶの活動—	(特非)環境の社こうち副理事長 元香美市教育長 時久 恵子
12月10日	地域循環共生圏の創出—大月町の取り組み	高知生物多様性ネットワーク代表 元(公財)黒潮生物研究所所長 岩瀬 文人
12月17日	生物多様性こうち戦略の推進体制 (生物多様性こうち戦略推進リーダーとえこらぶの役割)	高知県自然共生生観 内田 光輝 高知環境活動支援センターえこらぶ 上田 史
12月24日	知ってほしい優れた活動 ①ジンド池生物研究所 知ってほしい優れた活動 ②海来	愛媛大学学生 福村 俊人 遊漁船「海来」船長 樺尾 祐哉
1月7日	知ってほしい優れた活動 ③日本防災植物協会 知ってほしい優れた活動 ④久重 natural チーム	日本防災植物協会事務局長 斉藤 香織 久重 natural チーム代表 武林 由希子
1月14日	知ってほしい優れた活動 ⑤高知商業高校ジビエ部 私たちはいかに行動をすればよいのだろうか？ (意見交換)	高知商業高等学校教諭ジビエ部顧問 佐々木 翼 高知大学名誉教授 高知県環境審議会自然環境部会長 石川 慎吾

※12月31日は休講

### ◆金曜日 18:30～20:00/総合コース

「COP26・COP27・COP28 エネルギー政策(地球温暖化対策を含む)と環境保全の向上」

月日	講義テーマ(内容)	講師
10月4日	パリ協定、COP26・COP27・COP28の成果と課題	高知大学名誉教授 岩田 裕
10月11日	EV 電気自動車の時代がやってくる～SDGs 【つくる責任、つかう責任】	合同会社クラウドグリッド代表社員 藤島 和典
10月18日	脱炭素と再エネの国際動向 ～なぜ再エネ超大量導入なのか？ ※オンライン講義	ストラスクライド大学 アカデミックビジター 安田 陽
10月25日	再生可能エネルギー入門	高知工科大学地域連携機構 特任教授 菊池 豊
11月8日	気候変動と森林の環境	高知大学農林海洋科学部教授 市栄 智明
11月15日	脱炭素社会の推進に向けた高知県の取り組み	高知県環境計画推進課課長 高橋 宏和
11月22日	GXとDX～経済社会システム全体を変革しよう	合同会社クラウドグリッド代表社員 藤島 和典
11月29日	東南アジアの環境問題と日本	高知大学地域協働学部准教授 石筒 寛
12月6日	地球温暖化防止と経済成長は両立するか？ —GXはどこに向かうか—	高知短期大学名誉教授 細屋 俊明
12月13日	気候危機と豪雨災害	高知大学地域協働学部助教 森 明香
12月20日	氷期～間氷期という長い時間スケールでみた気候 変動	信州大学名誉教授 高知大学客員教授 公文 富士夫
12月27日	高知県の鍾乳洞～洞窟のでき方と関連させて—	信州大学名誉教授 高知大学客員教授 公文 富士夫
1月10日	地域の環境保全の取り組みと環境教育	高知大学地域協働学部准教授 石筒 寛
1月17日	自治体の再生可能エネルギーに多様な導入促進等の 意義	高知大学名誉教授 岩田 裕
1月24日	総論討論	高知大学地域協働学部准教授 石筒 寛 高知大学名誉教授 岩田 裕 合同会社クラウドグリッド代表社員 藤島 和典

※11月1日、1月3日は休講